

バラシクロビル錠 500mg 処方時の留意点（特に休日・夜間帯）

2020年1月
県連薬事委員会
外来管理部会

●バラシクロビルは、腎機能に応じて投与量調節が必要な薬剤です

＜帯状疱疹・水痘の場合＞

Ccr \geq 50	：	500mg 錠	6 錠/分 3	（=1,000mg を 8 時間毎）
30~49	：	500mg 錠	4 錠/分 2	（=1,000mg を 12 時間毎）
10~29	：	500mg 錠	2 錠/朝	（=1,000mg を 24 時間毎）
<10	：	500mg 錠	1 錠/朝	（=500mg を 24 時間毎）
血液透析患者	：	500mg 錠	0.5 錠/朝	（=250mg を 24 時間毎）

●処方時の注意点

- ① 処方時の腎機能を確認する
- ② 副作用チェックの必要性を伝える

① をしっかり行うためには、

- ・当院カルテ または 最近の健診結果等で腎機能を確認する
- ・当日採血し、推定 Ccr または eGFR を確認する
- ・当日採血するが、本人待てない場合は次回（万一 異常の場合は電話連絡できるように）
- ・夜間（当直）帯など 採血がすぐできない場合は、翌日受診を促し検査する

② をしっかり行うためには、

- ・3~4 日後に受診をすすめ、症状問診（飲水行動、排尿の有無）・血液検査（腎機能）等を施行
- ・尿量減少、傾眠、意識レベル低下、吐き気 等 AE 出現時には速やかに医療機関を受診するよう指導する（受診時は、お薬手帳等 処方内容がわかるものを持参するように）

※第 50 回県連薬事委員会（2010 年 7 月）で、バラシクロビル錠による意識障害の事例を報告し、以下のように基準化

「7 日分処方しない」 「まず 3 日分処方：再受診させ、尿量が減っていないか、水分が摂れているか、食欲が減っていないか、を確認後 残りの 4 日分を処方して 合計 7 日分」 「推定 Ccr をチェックして投与量 調節」

※電子カルテ導入後は「5 日まで」入力できるようになっています →設定上、「絶対に出せない日数制限」設定しかできない

（「3 日」に設定すると 3 以上入力できない : 通常診療で合計 7 日分処方ができなくなるため）

（「4 日」に設定すると水の夜診・木の午前診で処方時 土または日曜日受診になるのでは…と意見あったため）